



ユーザーガイド

# AWS ローカルゾーン



# AWS ローカルゾーン: ユーザーガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

# Table of Contents

Local AWS Zones とは .....	1
AWS ローカルゾーンを使用する理由 .....	1
ローカルゾーンの管理 .....	1
AWS ローカルゾーンの料金 .....	2
概念 .....	3
AWS Local Zones の仕組み .....	5
AWS ローカルゾーンでサポートされている リソース .....	5
考慮事項 .....	6
リソース .....	7
利用可能な Local Zones .....	8
ローカルゾーンのリスト .....	8
北米 .....	9
南米 .....	14
アフリカ .....	15
アジアパシフィック .....	15
欧州 .....	16
中東 .....	17
を使用してローカルゾーンを検索する AWS CLI .....	17
開始方法 .....	19
ステップ 1: ローカルゾーンにオプトインする .....	19
ステップ 2: ローカルゾーンサブネットを作成する .....	20
ステップ 3: ローカルゾーンサブネットにリソースを作成する .....	21
ステップ 4: クリーンアップする .....	23
接続オプション .....	24
インターネットゲートウェイ .....	25
NAT ゲートウェイ .....	26
VPN .....	27
Direct Connect .....	27
ローカルゾーン間のトランジットゲートウェイ .....	28
データセンターへのトランジットゲートウェイ .....	30
AWS 管理ポリシー .....	32
AWS ZoneGroupAccessManagementServiceRolePolicy .....	32
ポリシーの更新 .....	33
ドキュメント履歴 .....	34

---

..... xxxvi

# Local AWS Zones とは

AWS Local Zones は、コンピューティング、ストレージ、データベース、その他の厳選された AWS リソースを大規模な人口や業界の中心の近くに配置します。Local Zones を使用して、ユーザーにアプリケーションへの低レイテンシーアクセスを提供できます。

## AWS ローカルゾーンを使用する理由

Local AWS Zones を使用する理由はいくつかあります。

- エッジで低レイテンシーのアプリケーションを実行する — エンドユーザーに近いアプリケーションを構築してデプロイし、リアルタイムゲーム、ライブストリーミング、拡張現実と仮想現実 (AR/VR)、仮想ワークステーションなどを可能にします。
- ハイブリッドクラウドの移行を簡素化 — ハイブリッドデプロイの低レイテンシー要件を満たしながら、アプリケーションを近くの AWS ローカルゾーンに移行します。
- 厳格なデータレジデンシー要件を満たす — ヘルスケア、金融サービス、iGaming、政府などの分野の州および地域のデータレジデンシー要件に準拠します。

## ローカルゾーンの管理

次のオプションを使用して、ローカルゾーンで AWS リソースを管理できます。

- AWS マネジメントコンソール — ローカルゾーンを管理し、ローカルゾーンにリソースを作成するために使用できるウェブインターフェイスを提供します。
- AWS Command Line Interface (AWS CLI) — Amazon VPC を含む幅広い AWS サービスのコマンドを提供し、Windows、macOS、Linux でサポートされています。Local Zones で使用するサービスは、引き続き独自の名前空間を使用します。例えば、Amazon EC2 は「ec2」名前空間を使用し、Amazon EBS は「ebs」名前空間を使用します。詳細については、「[AWS Command Line Interface](#)」を参照してください。
- AWS SDKs — 言語固有の APIs を提供し、署名の計算、リクエストの再試行の処理、エラーの処理など、接続の詳細の多くを処理します。詳細については、[AWS SDK](#) を参照してください。

## AWS ローカルゾーンの料金

ローカルゾーンを有効にしても追加料金はかかりません。Local Zones にデプロイしたリソースに対してのみ料金が発生します。Local Zones の AWS リソースの料金は、親 AWS リージョンの料金とは異なります。詳細については、[AWS 「Local Zones の料金」](#)を参照してください。

# AWS Local Zones の概念

AWS ローカルゾーンの基本的な概念は次のとおりです。

- ローカルゾーン — ローカルゾーンインフラストラクチャがデプロイされる、ユーザーに近い地理的な AWS リージョンの拡張。
- VPC — Virtual Private Cloud (VPC) は、独自のデータセンターで運用する従来のネットワークによく似た仮想ネットワークです。VPCs にサブネットを作成し、Amazon EC2 インスタンスなどの AWS リソースをサブネットにデプロイします。

VPC は、アベイラビリティゾーン、ローカルゾーン、および波長ゾーンにまたがることができます。

- ローカルゾーンサブネット — ローカルゾーンに作成するサブネット。サポートされている AWS リソースは、ローカルゾーンサブネットにデプロイできます。
- Group Long Name — Local Zone グループ名。
- ネットワークボーダーグループ — がパブリック IP アドレスを AWS アドバタイズする一意のグループ。アベイラビリティゾーン、ローカルゾーン、または Wavelength Zone で構成されます。パブリック IP アドレスのプールは、ネットワーク境界グループで使用するよう明示的に割り当てることができます。プロビジョニングされると、IP アドレスはネットワーク境界グループ間で移動できなくなります。たとえば、us-west-2-lax-1 ネットワーク境界グループはロサンゼルス の 2 つのローカルゾーンで構成され、us-east-1-bos-1 ネットワーク境界グループはボストンの 1 つのローカルゾーンで構成されます。2 つのロサンゼルスローカルゾーン間で IP アドレスを移動することはできますが、ロサンゼルスローカルゾーンからボストンローカルゾーンに IP アドレスを移動することはできません。

サブネットを作成すると、アベイラビリティゾーンのドロップダウンリストにローカルゾーンのネットワーク境界グループが表示されます。

- 親リージョン — API コールなど、ローカルゾーンおよび Wavelength Zone コントロールプレーンオペレーションの一部を処理するリージョン。
- 親ゾーン ID — API コールなど、一部のローカルゾーンおよび Wavelength Zone コントロールプレーンオペレーションを処理するゾーンの ID
- 地理 — ローカルゾーンの地理は、そのインフラストラクチャの特定の物理的な場所です。この情報は、規制、コンプライアンス、運用上の要件を満たすのに役立ちます。

詳細については、以下を参照してください。

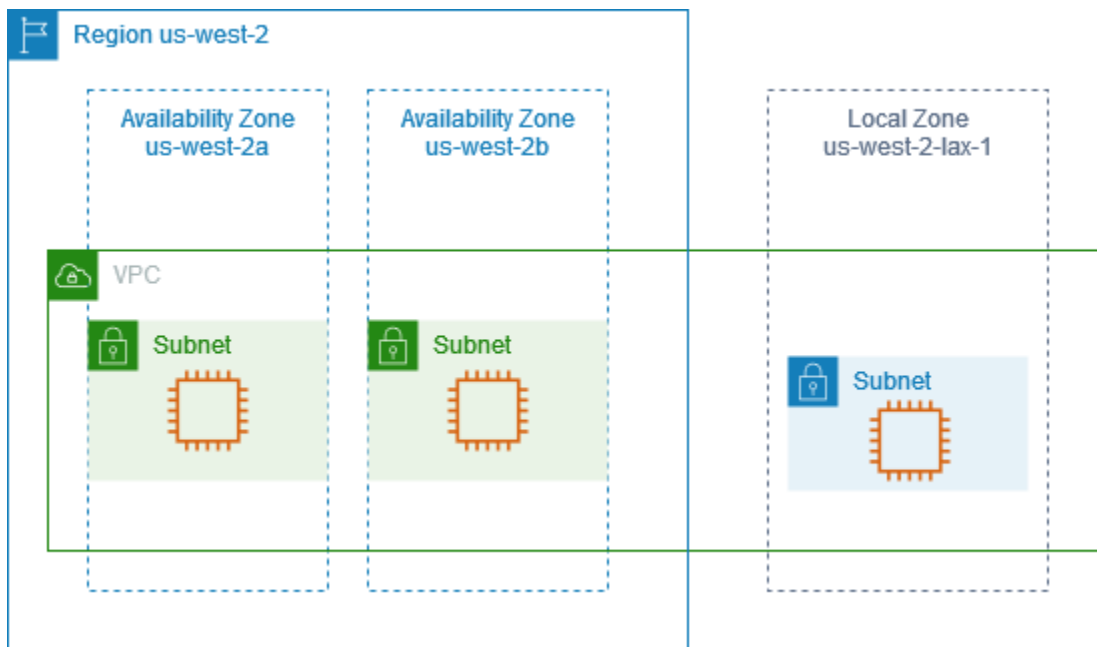
- AWS Site-to-Site VPN ユーザーガイドの [AWS Site-to-Site VPN 概念](#)。
- 「Amazon VPC ユーザーガイド」の [「ルートテーブルの概念」](#)。

# AWS Local Zones の仕組み

ローカルゾーンは、ユーザーに地理的に近い [AWS リージョン](#) の拡張です。ローカルゾーンには、インターネットへの独自の接続とサポートがあるため Direct Connect、ローカルゾーンで作成されたリソースは、低レイテンシーを必要とするアプリケーションを提供できます。

ローカルゾーンを使用するには最初にそれを有効にする必要があります。次に、ローカルゾーンにサブネットを作成します。最後に、ローカルゾーンサブネットでリソースを起動します。詳細な手順については、「[開始方法](#)」を参照してください。

次の図は、ローカルゾーンに拡張された us-west-2 リージョンの VPC を持つアカウントを示しています us-west-2-lax-1。VPC の各ゾーンには 1 つのサブネットがあり、各サブネットには 1 つの EC2 インスタンスがあります。



## AWS ローカルゾーンでサポートされている リソース

Local Zone サブネットにリソースを作成すると、ユーザーの近くに配置されます。Local Zones でサポートされているリソースを持つサービスのリストについては、[AWS 「Local Zones の機能」](#) を参照してください。

## 考慮事項

- Amazon EBS スナップショットストレージは、選択したローカルゾーンによって異なります。[AWS 「ローカルゾーンの機能」](#)を参照してください。
- Amazon EBS ボリュームのデフォルトの暗号化動作は、選択したローカルゾーンによって異なります。[AWS 「ローカルゾーンの機能」](#)を参照してください。
- ローカルゾーンサブネットは、ルートテーブル、セキュリティグループ、ネットワーク ACLs の使用など、アベイラビリティゾーンサブネットと同じルーティングルールに従います。
- アウトバウンドインターネットトラフィックは、あるローカルゾーンから そのローカルゾーンを離れます。
- Transit Gateway を使用してオンプレミスの場所からローカルゾーンに接続する AWS リージョンと、ネットワークトラフィックは にヘアピン接続されます。
- クラウド WAN またはトランジットゲートウェイ VPC アタッチメントの作成中に、ローカルゾーンからサブネットを選択することはできません。そうすると、エラーが発生します。
- を使用してローカルゾーン内のサブネットを宛先とするトラフィックは、ローカルゾーンの親リージョンを経由 Direct Connect しません。代わりに、トラフィックはローカルゾーンへの最短経路をたどります。これにより、レイテンシーが減少し、アプリケーションの応答性が向上します。

より回復力のある接続が必要な場合は、オンプレミスのロケーションとローカルゾーン Direct Connect の間に複数の を実装します。を使用したレジリエンスの構築の詳細については Direct Connect、[Direct Connect 「Resiliency Recommendations」](#)を参照してください。

- 次のローカルゾーンは IPv6 をサポートしています: us-east-1-atl-2a、us-east-1-chi-2a、us-east-1-dfw-2a、us-east-1-iah-2a、us-east-1-mia-2a、us-east-1-nyc-2aus-west-2-lax-1aus-west-2-lax-1b、および us-west-2-phx-2a。
- 次のローカルゾーンは、仮想プライベートゲートウェイ (VGW) とのエッジ関連付けをサポートしています: us-east-1-atl-2a、us-east-1-chi-2a、us-east-1-dfw-2aus-east-1-iah-2a、us-east-1-mia-2a、us-east-1-nyc-2aus-west-2-lax-1aus-west-2-lax-1b、。 us-west-2-phx-2a

エッジの関連付けやその他のルートテーブルの概念を理解するには、「Amazon VPC ユーザーガイド」の [「ルートテーブルの概念」](#)を参照してください。

仮想プライベートゲートウェイおよびその他の AWS Site-to-Site VPN 概念を理解するには、AWS Site-to-Site VPN 「ユーザーガイド」の [「概念」](#)を参照してください。

- Local Zone のサブネット内に VPC エンドポイントを作成することはできません。

- AWS Site-to-Site VPN は Local Zones では使用できません。ソフトウェアベースの VPN を使用して、ローカルゾーンへのsite-to-site接続を確立します。
- 通常、最大送信単位 (MTU) は次のとおりです。
  - 同じローカルゾーン内の Amazon EC2 インスタンス間で 9001 バイト。
  - インターネットゲートウェイとローカルゾーンの間で 1500 バイト。
  - Direct Connect と、以下を除くすべてのローカルゾーンの間で 1500 バイト。
    - us-east-1-atl-2a、us-east-1-chi-2a、us-east-1-nyc-2a、 の場合は 8500 us-east-1-dfw-2a us-east-1-iah-2a us-west-2-lax-1a us-west-2-lax-1b us-east-1-mia-2a バイト us-west-2-phx-2a
  - Local Zone の Amazon EC2 インスタンスと、以下を除くすべての Local Zone のリージョンの Amazon EC2 インスタンスの間で 1300 バイト。
    - us-west-2-lax-1a および では 9001 バイト us-west-2-lax-1b
    - us-east-1-atl-2a、us-east-1-chi-2a、us-east-1-dfw-2a、us-east-1-nyc-2a、 の場合は 8801 us-east-1-iah-2a us-east-1-mia-2a バイト us-west-2-phx-2a

## リソース

次のリソースを使用して AWS Local Zones の使用を開始する方法について説明します。

- [開始方法](#)
- [AWS ローカルゾーンを使用した低レイテンシーアプリケーションのデプロイを開始する](#)

# 利用可能な Local Zones

AWS Local Zones は世界中で利用できます。最寄りのローカルゾーンを見つけます。

次の用語は、ローカルゾーンに関連付けられた詳細を識別します。

- Group Long Name - Local Zones のグループの名前。
- ローカルゾーン名 - ローカルゾーンの名前。
- ローカルゾーン ID - ローカルゾーンの ID。ID はローカルゾーンの親リージョンのコードで、その後はその場所の識別子が続きます。たとえば、us-west-2-lax-1a はロサンゼルスにあり、us-west-2 は親リージョンコード、lax-1a はロケーション識別子です。
- ネットワークボーダーグループ - がパブリック IP アドレスを AWS アドバタイズする一意のグループ。
- 親リージョン名 - ローカルゾーンの AWS リージョンの名前。
- 親ゾーン ID - API コールなど、一部のローカルゾーンコントロールプレーンオペレーション AWS を処理する親ゾーンの ID。
- 地理 - ローカルゾーンの地理は、そのインフラストラクチャの特定の物理的な場所です。

ローカルゾーンの使用の詳細については、「」を参照してください。 [概念](#)

## ローカルゾーンのリスト

最寄りのローカルゾーンを見つけます。

AWS ローカルゾーン

- [北米](#)
- [南米](#)
- [アフリカ](#)
- [アジアパシフィック](#)
- [欧州](#)
- [中東](#)

## 北米

北米では、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
メキシコ (ケレタロ)	us-east-1-qro-1a	use1-qro1-az1	us-east-1-qro-1	us-east-1	use1-az1	Mexico
米国東部 (アトランタ) 2	us-east-1-atl-2a	use1-atl2-az1	us-east-1-atl-2	us-east-1	use1-az5	Georgia, United States of America
米国東部 (アトランタ)*	us-east-1-atl-1a	use1-atl1-az1	us-east-1-atl-1	us-east-1	use1-az4	Georgia, United States of America
米国東部 (ボストン)	us-east-1-bos-1a	use1-bos1-az1	us-east-1-bos-1	us-east-1	use1-az4	Massachusetts, United States of America
米国東部 (シカゴ) 2	us-east-1-chi-2a	use1-chi2-az1	us-east-1-chi-2	us-east-1	use1-az6	Illinois, United States of America

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
米国東部 (シカゴ)*	us-east-1-chi-1a	use1-chi1-az1	us-east-1-chi-1	us-east-1	use1az5	Illinois, United States of America
米国東部 (ダラス) 2	us-east-1-dfw-2a	use1-dfw2-az1	us-east-1-dfw-2	us-east-1	use1az4	Texas, United States of America
米国東部 (ダラス)*	us-east-1-dfw-1a	use1-dfw1-az1	us-east-1-dfw-1	us-east-1	use1az1	Texas, United States of America
米国東部 (ヒューストン) 2	us-east-1-iah-2a	use1-iah2-az1	us-east-1-iah-2	us-east-1	use1az2	Texas, United States of America
米国東部 (ヒューストン)*	us-east-1-iah-1a	use1-iah1-az1	us-east-1-iah-1	us-east-1	use1az6	Texas, United States of America

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
米国東部 (カンザスシティ) 2	us-east-1-mci-1a	use1-mci1-az1	us-east-1-mci-1	us-east-1	use1-az2	Missouri, United States of America
米国東部 (マイアミ) 2	us-east-1-mia-2a	use1-mia2-az1	us-east-1-mia-2	us-east-1	use1-az6	Florida, United States of America
米国東部 (マイアミ)*	us-east-1-mia-1a	use1-mia1-az1	us-east-1-mia-1	us-east-1	use1-az2	Florida, United States of America
米国東部 (ミネアポリス)	us-east-1-msp-1a	use1-msp1-az1	us-east-1-msp-1	us-east-1	use1-az5	Minnesota, United States of America
米国東部 (ニューヨーク市) 2	us-east-1-nyc-2a	use1-nyc2-az1	us-east-1-nyc-2	us-east-1	use1-az5	New Jersey, United States of America

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
米国東部 (ニューヨーク市)*	us-east-1-nyc-1a	use1-nyc1-az1	us-east-1-nyc-1	us-east-1	use1-az5	New Jersey, United States of America
米国東部 (フィラデルフィア)	us-east-1-ph1-1a	use1-ph11-az1	us-east-1-ph1-1	us-east-1	use1-az1	Pennsylvania, United States of America
米国西部 (デンバー)	us-west-2-den-1a	usw2-den1-az1	us-west-2-den-1	us-west-2	usw2-az4	Colorado, United States of America
米国西部 (ホノルル)	us-west-2-hn1-1a	usw2-hn11-az1	us-west-2-hn1-1	us-west-2	usw2-az3	Hawaii, United States of America
米国西部 (ラスベガス)	us-west-2-las-1a	usw2-las1-az1	us-west-2-las-1	us-west-2	usw2-az3	Nevada, United States of America

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
米国西部 (ロサンゼルス)	us-west-2-lax-1a	usw2-lax1-az1	us-west-2-lax-1	us-west-2	usw2-az2	California, United States of America
米国西部 (ロサンゼルス)	us-west-2-lax-1b	usw2-lax1-az2	us-west-2-lax-1	us-west-2	usw2-az4	California, United States of America
米国西部 (フェニックス) 2	us-west-2-phx-2a	usw2-phx2-az1	us-west-2-phx-2	us-west-2	usw2-az2	Arizona, United States of America
米国西部 (フェニックス)*	us-west-2-phx-1a	usw2-phx1-az1	us-west-2-phx-1	us-west-2	usw2-az2	Arizona, United States of America
米国西部 (ポートランド)*	us-west-2-pdx-1a	usw2-pdx1-az1	us-west-2-pdx-1	us-west-2	usw2-az3	Oregon, United States of America

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
米国西部 (シアトル)	us-west-2-sea-1a	usw2-sea1-az1	us-west-2-sea-1	us-west-2	usw2-az1	Washington, United States of America

\* アクセスをリクエスト サポート するには、 [お問い合わせ](#) してください。

## 南米

南米では、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
アルゼンチン (ブエノスアイレス)	us-east-1-bue-1a	use1-bue1-az1	us-east-1-bue-1	us-east-1	use1-az2	Argentina
チリ (サンティアゴ)	us-east-1-scl-1a	use1-scl1-az1	us-east-1-scl-1	us-east-1	use1-az1	Chile
ペルー (リマ)	us-east-1-lim-1a	use1-lim1-az1	us-east-1-lim-1	us-east-1	use1-az2	Peru

## アフリカ

アフリカでは、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
ナイジェリア (ラゴス)	af-south-1-los-1a	afs1-los1-az1	af-south-1-los-1	af-south-1	afs1-az1	Nigeria

## アジアパシフィック

アジアパシフィックでは、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
オーストラリア (パース)	ap-southeast-2-per-1a	apse2-per1-az1	ap-southeast-2-per-1	ap-southeast-2	apse-az1	Australia
インド (デリー)	ap-south-1-del-1a	aps1-del1-az1	ap-south-1-del-1	ap-south-1	aps1-az3	India
インド (コルカタ)	ap-south-1-ccu-1a	aps1-ccu1-az1	ap-south-1-ccu-1	ap-south-1	aps1-az1	India
ニュージーランド (オークランド)*	ap-southeast-2-akl-1a	apse2-akl1-az1	ap-southeast-2-akl-1	ap-southeast-2	apse-az2	New Zealand

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
フィリピン (マニラ)	ap-southeast-1-mnl-1a	apse1-mnl1-az1	ap-southeast-1-mnl-1	ap-southeast-1	apse1-az1	Philippines
台湾 (台北)*	ap-northeast-1-tpe-1a	apne1-tpe1-az1	ap-northeast-1-tpe-1	ap-northeast-1	apne1-az2	Taiwan
タイ (バンコック)	ap-southeast-1-bkk-1a	apse1-bkk1-az1	ap-southeast-1-bkk-1	ap-southeast-1	apse1-az1	Thailand

## 欧州

欧州では、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
デンマーク (コペンハーゲン)	eu-north-1-cph-1a	eun1-cph1-az1	eu-north-1-cph-1	eu-north-1	eun1-az2	Denmark
フィンランド (ヘルシンキ)	eu-north-1-hel-1a	eun1-hel1-az1	eu-north-1-hel-1	eu-north-1	eun1-az1	Finland
ドイツ (ハンブルク)	eu-central-1-ham-1a	eu1-ham1-az1	eu-central-1-ham-1	eu-central-1	eu1-az3	Germany

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
ポーランド (ワルシャワ)	eu-central-1-waw-1a	eu-central-1-waw-az1	eu-central-1-waw-1	eu-central-1	eu-central-1	Poland

## 中東

中東では、次のローカルゾーンを使用できます。

ローカルゾーングループのロングネーム	ローカルゾーン名	ローカルゾーン ID	ネットワークボーダーグループ	親リージョン名	親ゾーン ID	地域別
オマーン (マスカット)	me-south-1-mct-1a	me-south-1-mct-az1	me-south-1-mct-1	me-south-1	me-south-1	Oman

サポートされているローカルゾーンと発表されたローカルゾーンの完全なリストについては、[AWS「Local Zones Locations」](#)を参照してください。

## を使用してローカルゾーンを検索する AWS CLI

`describe-availability-zones` コマンドを使用して、アカウントの特定のリージョンで利用可能なローカルゾーンの詳細を取得します。

次の例は、`describe-availability-zones` コマンドを実行する方法を示しています。

```
aws ec2 describe-availability-zones \
  --region us-west-2 \
  --filters Name=zone-type,Values=local-zone \
  --all-availability-zones
```

次の例は、describe-availability-zones コマンドの出力を示しています。

```
{
  "State": "available",
  "OptInStatus": "opted-in",
  "Messages": [],
  "RegionName": "us-west-2",
  "ZoneName": "us-west-2-lax-1a",
  "ZoneId": "usw2-lax1-az1",
  "GroupName": "us-west-2-lax-1",
  "NetworkBorderGroup": "us-west-2-lax-1",
  "ZoneType": "local-zone",
  "ParentZoneName": "us-west-2a",
  "ParentZoneId": "usw2-az2",
  "GroupLongName": "US West (Los Angeles)"
},
{
  "State": "available",
  "OptInStatus": "opted-in",
  "Messages": [],
  "RegionName": "us-west-2",
  "ZoneName": "us-west-2-lax-1b",
  "ZoneId": "usw2-lax1-az2",
  "GroupName": "us-west-2-lax-1",
  "NetworkBorderGroup": "us-west-2-lax-1",
  "ZoneType": "local-zone",
  "ParentZoneName": "us-west-2d",
  "ParentZoneId": "usw2-az4",
  "GroupLongName": "US West (Los Angeles)"
}
```

# AWS ローカルゾーンの開始方法

AWS ローカルゾーンの使用を開始するには、まず AWS グローバルビューコンソールまたは [AWS CLI](#) を使用してローカルゾーンにオプトインする必要があります。次に、親リージョンの VPC にサブネットを作成し、作成時にローカルゾーンを指定します。最後に、ローカルゾーンサブネットに AWS リソースを作成します。

## タスク

- [ステップ 1: ローカルゾーンにオプトインする](#)
- [ステップ 2: ローカルゾーンサブネットを作成する](#)
- [ステップ 3: ローカルゾーンサブネットにリソースを作成する](#)
- [ステップ 4: クリーンアップする](#)

## ステップ 1: ローカルゾーンにオプトインする

AWS Global View コンソールまたはコマンドラインインターフェイスを使用して、アカウントで使用できるローカルゾーンを決定できます。次に、使用するローカルゾーンにオプトインします。

### AWS Global View console

ローカルゾーンにオプトインするには

1. [AWS Global View コンソール](#) にサインインします。
2. ナビゲーションペインから、リージョンとゾーンを選択します。
3. Local Zones タブを選択します。
4. 有効にするローカルゾーンを見つけます。リストを下にスクロールするか、検索フィールドに用語を入力できます。
5. ローカルゾーンの行を選択します。
6. オプトインを選択します。
7. Local Zone の親リージョンを有効にするように求められます。リージョンを有効にする [を選択](#) します。
8. Enable Region ポップアップで、Enable Region を選択します。
9. リージョンとゾーンページのローカルゾーンタブから、ローカルゾーンを選択し、オプトインを選択します。

## 10. オプトインゾーングループのポップアップで、オプトインゾーングループを選択します。

Local Zone を使用できるようになりました。

### AWS CLI

ローカルゾーンにオプトインするには

1. `describe-availability-zones` コマンドを次のように使用して、指定されたリージョン内のすべてのローカルゾーンを記述します。

```
aws ec2 describe-availability-zones \  
  --region us-west-2 \  
  --filters Name=zone-type,Values=local-zone \  
  --all-availability-zones
```

2. 次のように `modify-availability-zone-group` コマンドを使用して、特定のローカルゾーンを有効にします。

```
aws ec2 modify-availability-zone-group \  
  --region us-west-2 \  
  --group-name us-west-2-lax-1 \  
  --opt-in-status opted-in
```

## ステップ 2: ローカルゾーンサブネットを作成する

サブネットを追加するときは、VPC の範囲からサブネットの IPv4 CIDR ブロックを指定する必要があります。IPv6 CIDR ブロックが VPC に関連付けられている場合は、オプションでサブネットに IPv6 CIDR ブロックを指定できます。サブネットが存在するローカルゾーンを指定できます。同じローカルゾーンに複数のサブネットを持つことができます。

### Console

ローカルゾーンサブネットを VPC に追加するには

1. Amazon VPC コンソールの <https://console.aws.amazon.com/vpc/> を開いてください。
2. ナビゲーションバーで、[Regions] (リージョン) セレクタを選択し、親リージョンを選択します。
3. ナビゲーションペインで、[Subnets (サブネット)] を選択します。

4. [サブネットの作成] を選択します。
5. VPC ID で、VPC を選択します。
6. サブネット名に、サブネットの名前を入力します。これにより、Name というキーと指定した値を含むタグが作成されます。
7. アベイラビリティゾーンで、有効にしたローカルゾーンを選択します。
8. サブネットの IPv4 CIDR ブロックを指定します。
9. (オプション) サブネットの IPv6 CIDR ブロックを指定します。このオプションは、IPv6 CIDR ブロックが VPC に関連付けられている場合にのみ使用できます。
10. (オプション) タグを追加するには、タグキーとタグ値を入力します。新しいタグを追加を選択して、別のタグを追加します。
11. [サブネットの作成] を選択します。

## AWS CLI

ローカルゾーンサブネットを VPC に追加するには

次のように [create-subnet](#) コマンドを使用して、指定されたローカルゾーンに指定された VPC のサブネットを作成します。

```
aws ec2 create-subnet \  
  --region us-west-2 \  
  --availability-zone us-west-2-lax-1a \  
  --vpc-id vpc-081ec835f303f720e
```


## ステップ 3: ローカルゾーンサブネットにリソースを作成する

ローカルゾーンにサブネットを作成したら、ローカルゾーンに AWS リソースをデプロイできます。例えば、次の手順は、ローカルゾーンで Amazon EC2 インスタンスを起動する方法を示しています。

### Console

ローカルゾーンサブネットで Amazon EC2 インスタンスを起動するには

1. Amazon EC2 コンソールの <https://console.aws.amazon.com/ec2/> を開いてください。
2. ナビゲーションペインの [インスタンス] で、[インスタンスタイプ] を選択します。

3. 検索フィールドで、アベイラビリティゾーンを選択し、含むを選択し、ゾーン名 (例: ) を入力します us-west-2-lax-1。最初の項目、または親リージョンのこのゾーン ID とアベイラビリティゾーンのみを持つ項目を選択します。
4. インスタンスタイプのいずれかを選択し、アクション、インスタンスの起動を選択します。
5. 名前とタグに、インスタンスのわかりやすい名前 (例: my-lz-instance) を入力します。これにより、Name というキーと指定した値を含むタグが作成されます。
6. [Application and OS Images (Amazon Machine Image)] (アプリケーションと OS イメージ (Amazon マシンイメージ)) で、次の作業を行います。
  - a. インスタンスのオペレーティングシステムを選択します。
  - b. Amazon マシンイメージ (AMI) を選択します。[Amazon Machine Image (AMI) (Amazon マシンイメージ (AMI))] はインスタンスのテンプレートとして機能する基本設定です。
  - c. アーキテクチャを選択します。
7. キーペア (ログイン) で、既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。これは、EC2 インスタンスに接続する場合に必要です。
8. ネットワーク設定の横にある編集を選択し、次の操作を行います。
  - a. VPC を選択します。
  - b. ローカルゾーンサブネットを選択します。
  - c. パブリック IP の自動割り当てを有効または無効にします。
  - d. セキュリティグループを作成するか、既存のセキュリティグループを選択します。
9. インスタンスの他の構成設定のデフォルトの選択を保持できます。サポートされるストレージタイプを確認するには、「ローカルゾーン機能」の「コンピューティングとストレージ」セクションを参照してください。 [AWS](#)
10. Summary (概要) パネルでインスタンス設定の要約を確認します。準備が完了したら、[Launch instance] (インスタンスを起動) を選択します。
11. 確認ページは、インスタンスが起動中であることを通知します。[View all instances] (すべてのインスタンスの表示) を選択して確認ページを閉じ、コンソールに戻ります。
12. インスタンス画面で、起動のステータスを確認できます。インスタンスの起動には短時間かかります。インスタンスを起動すると、その初期状態は pending です。インスタンスがスタートすると、その状態は running に変わり、公開 DNS 名を受け取ります。パブリック IPv4 DNS 列が非表示になっている場合は、右上隅の設定アイコン (  ) を選択し、パブリック IPv4 DNS をオンにして確認を選択します。

13. インスタンスに接続可能になるまでには、数分かかることがあります。インスタンスのステータスチェックが正常に終了したことを確認します。この情報は [ステータスチェック] 列に表示されています。

## AWS CLI

ローカルゾーンでサポートされているインスタンスタイプを取得するには

[describe-instance-types](#) コマンドを使用します。

```
aws ec2 describe-instance-type-offerings \  
  --filters Name=location,Values=us-west-2-lax-1a \  
  --location-type availability-zone \  
  --query InstanceTypeOfferings[*].InstanceType
```

ローカルゾーンサブネットで EC2 インスタンスを起動するには

[run-instances](#) コマンドを使用します。

```
aws ec2 run-instances \  
  --region us-west-2 \  
  --subnet-id subnet-08fc749671b2d077c \  
  --instance-type t3.micro \  
  --image-id ami-0abcdef1234567890 \  
  --security-group-ids sg-0b0384b66d7d692f9 \  
  --key-name my-key-pair
```

## ステップ 4: クリーンアップする

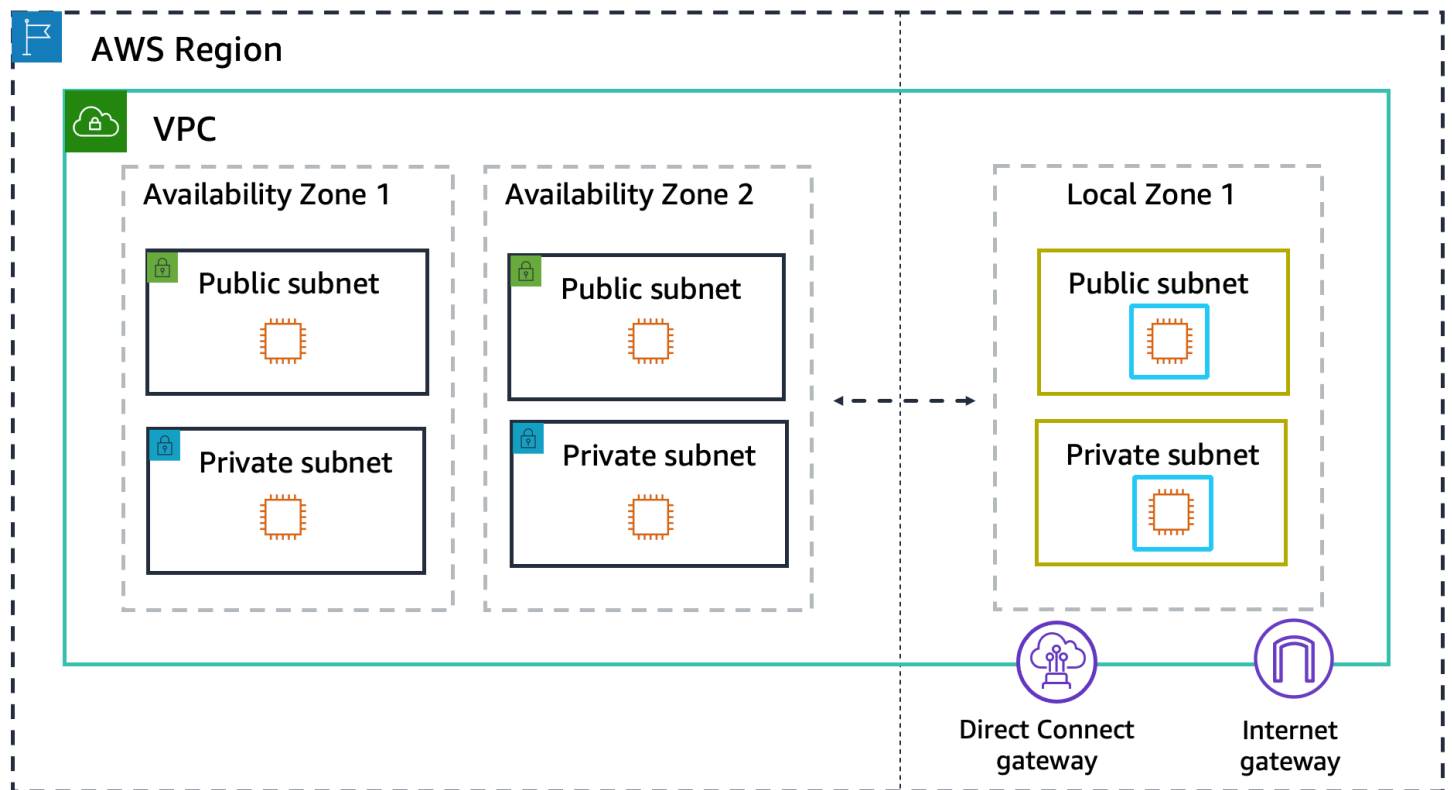
ローカルゾーンの使用が終了したら、ローカルゾーンのリソースを削除します。ゾーングループを無効にするには、に連絡する必要があります AWS サポート。「ゾーングループを無効にする」というタイトルのケースを開き、ゾーングループの名前を指定します。

# ローカルゾーンの接続オプション

ユーザーとアプリケーションをローカルゾーンで実行されているリソースに接続するには、さまざまな方法があります。

アベイラビリティゾーンを選択するのと同じ方法で、ローカルゾーンをネットワークアーキテクチャに構築します。ワークロードは、同じアプリケーションプログラミングインターフェイス (APIs)、セキュリティモデル、およびツールセットを使用します。新しいサブネットを作成してローカルゾーンに割り当てることで、親リージョンからローカルゾーンに任意の VPC を拡張できます。AWS Local Zones でサブネットを作成すると、VPC はその Local Zones に拡張され、VPC はサブネットを他のアベイラビリティゾーンのサブネットと同じように扱い、関連するゲートウェイとルートテーブルを自動的に調整します。

次の図は、2つのアベイラビリティゾーンと AWS リージョン内のローカルゾーンで実行されているリソースを持つネットワークを示しています。ローカルゾーンネットワークには、パブリックサブネットまたはプライベートサブネット、インターネットゲートウェイ、Direct Connect ゲートウェイ (DXGW) を含めることができます。Local Zone で実行されているワークロードは、任意の AWS リージョンに存在するワークロードまたは AWS サービスに直接アクセスできます。



以下のセクションでは、ローカルゾーンのリソースに接続するさまざまな方法について説明します。

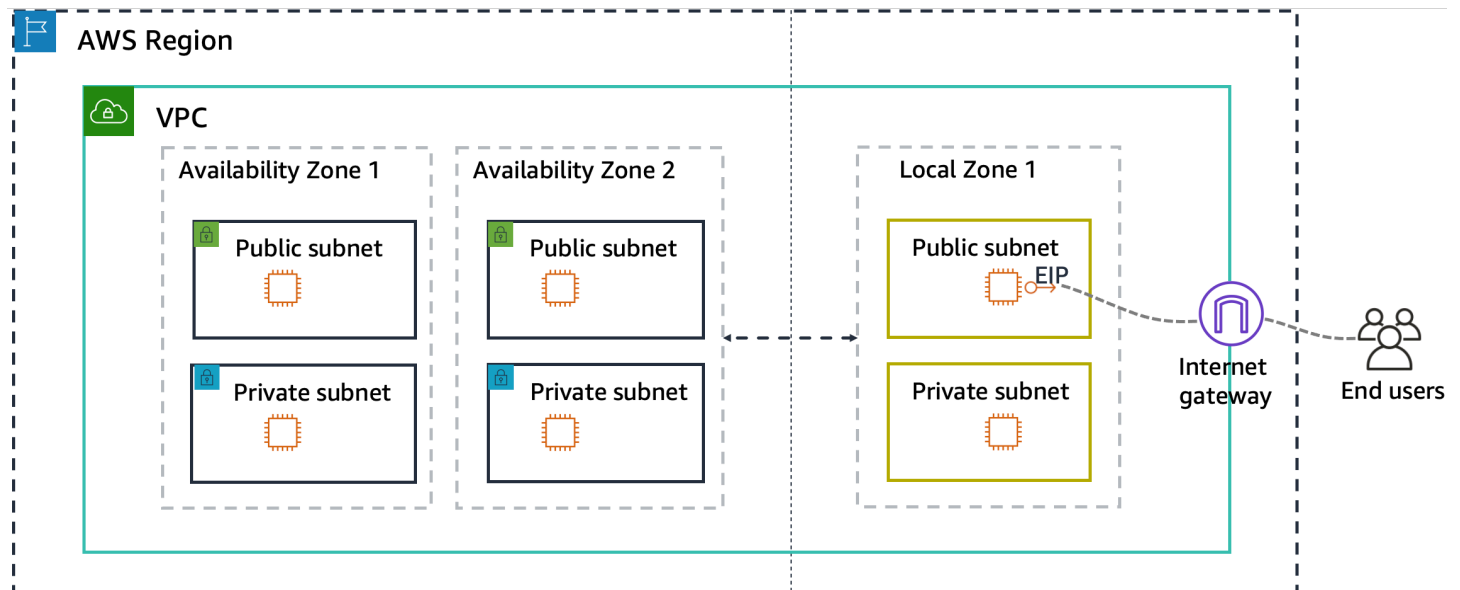
## 接続オプション

- [ローカルゾーンでのインターネットゲートウェイ接続](#)
- [ローカルゾーンでの NAT ゲートウェイ接続](#)
- [ローカルゾーンでの VPN 接続](#)
- [ローカルゾーンでの Direct Connect](#)
- [ローカルゾーン間のトランジットゲートウェイ接続](#)
- [ローカルゾーンでのトランジットゲートウェイ接続](#)

## ローカルゾーンでのインターネットゲートウェイ接続

インターネットゲートウェイは、AWS リージョン および/またはローカルゾーンで実行されているアプリケーションへの双方向のパブリック接続を提供します。詳細については、Amazon VPC ユーザーガイドの「[インターネットゲートウェイ](#)」を参照してください。

次の図では、エンドユーザーは Local Zone 1 のパブリックアプリケーションにアクセスします。トラフィックは、親 AWS リージョンを経由せずに、ローカルゾーン 1 のインターネットゲートウェイに直接送信されます。このタイプの接続は、が提供 AWS リージョン できるよりもパブリック向けアプリケーションをエンドユーザーに近づける低レイテンシーのユースケースに使用します。



インターネットへのアウトバウンド専用接続を必要とするプライベートアプリケーションの場合は、NAT ゲートウェイを使用します。

## ローカルゾーンでの NAT ゲートウェイ接続

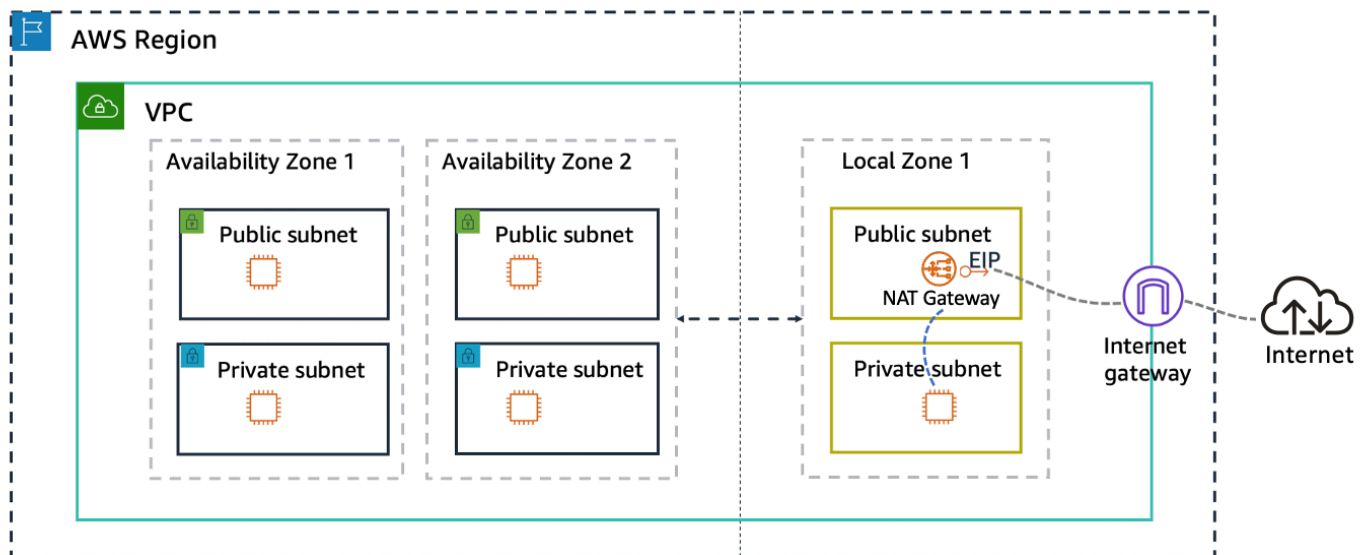
NAT ゲートウェイは、ネットワークアドレス変換 (NAT) サービスです。これにより、プライベートサブネット内の Amazon VPC リソースは、インターネットを含むサブネット外のサービスに安全にアクセスし、これらのプライベートリソースは未承諾のトラフィックにアクセスできなくなります。NAT ゲートウェイをサポートするローカルゾーンのリストについては、[AWS 「ローカルゾーンの機能」](#) を参照してください。

NAT ゲートウェイを使用してプライベートリソースからインターネットにアクセスするには、パブリックサブネットで NAT ゲートウェイをインスタンス化し、プライベートサブネットから NAT ゲートウェイにインターネットトラフィック (0.0.0.0/0 または ::/0) をルーティングします。NAT ゲートウェイは、プライベートサブネットから送信されるトラフィックのプライベート IP アドレスをそれに関連付けられた EIP に変換し、プライベートリソースがインターネットに安全にアクセスできるようにします。

NAT ゲートウェイは、アクセスされた送信先からのレスポンストラフィックのみを受け入れ、未承諾のインバウンド接続をすべてドロップします。これにより、プライベートリソースにインターネットからアクセスできなくなります。

詳細については、「Amazon VPC ユーザーガイド」の「[NAT ゲートウェイ](#)」を参照してください。

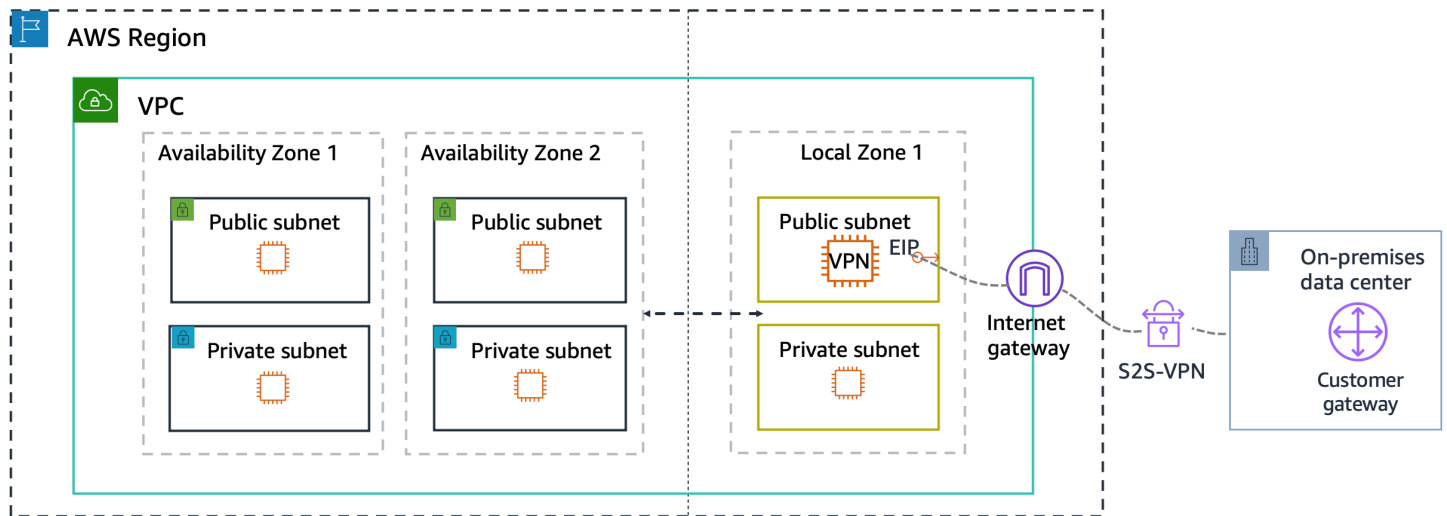
次の図は、ローカルゾーンのプライベートサブネットから同じローカルゾーンのパブリックサブネットの NAT ゲートウェイ、次にインターネットゲートウェイ、インターネットへのトラフィックフローを示しています。



## ローカルゾーンでの VPN 接続

VPN 接続は、オンプレミスデータセンターで実行されているワークロードとローカルゾーン間の安全な双方向通信を提供できます。Local Zones の場合、Amazon EC2 インスタンスにソフトウェアベースの VPN ソリューションをデプロイする必要があります。[AWS Marketplace](#) にアクセスして、Amazon EC2 インスタンスで実行する準備ができていない VPN ソリューションを見つけます。また、VPN 接続を確立できるように、インターネットゲートウェイをデプロイする必要があります。

次の図は、Local Zone 1 の Amazon EC2 インスタンスで実行されているソフトウェアベースの VPN ソリューションによって Local Zone 1 に接続されたデータセンターを示しています。これにより、親リージョンを通過するトラフィックなしで、データセンターからローカルゾーンに直接暗号化された接続が可能になります。

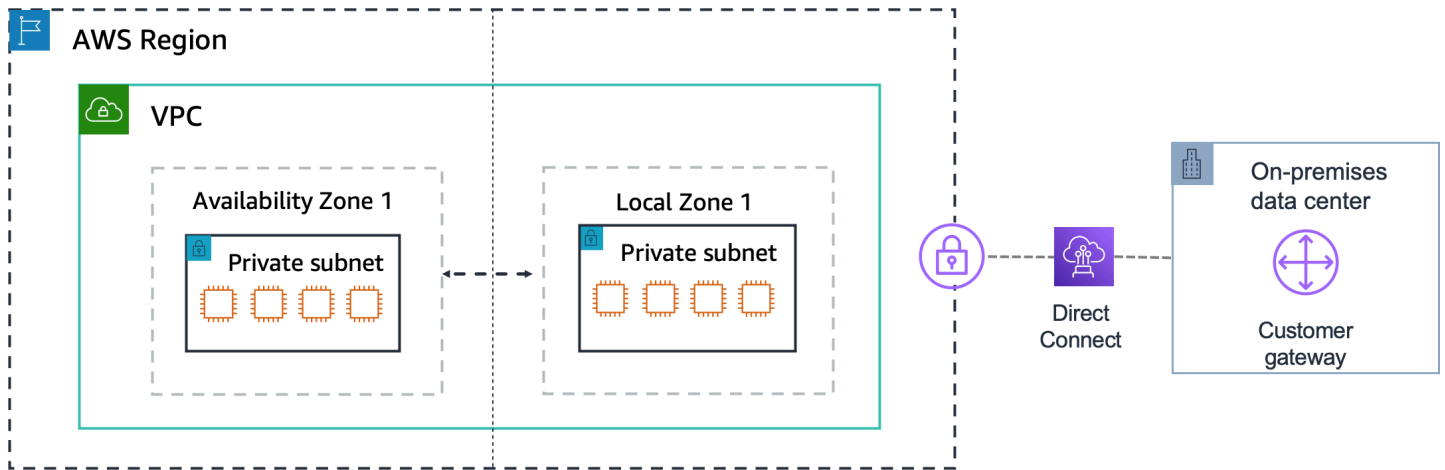


## ローカルゾーンでの Direct Connect

では Direct Connect、パブリック仮想インターフェイス (VIF) またはプライベート VIF を使用して、データセンターからローカルゾーンとの間でプライベートおよび直接データを転送します。Direct Connect は、Amazon EC2 でソフトウェアベースの VPN を使用するのと同様の利点がありますが、パブリックインターネットをバイパスし、ローカルゾーンへの接続を管理するために必要なオーバーヘッドを減らします。

詳細については、「[Direct Connect ユーザーガイド](#)」を参照してください。

次の図は、ローカルゾーンとデータセンター間の Direct Connect 接続を示しています。



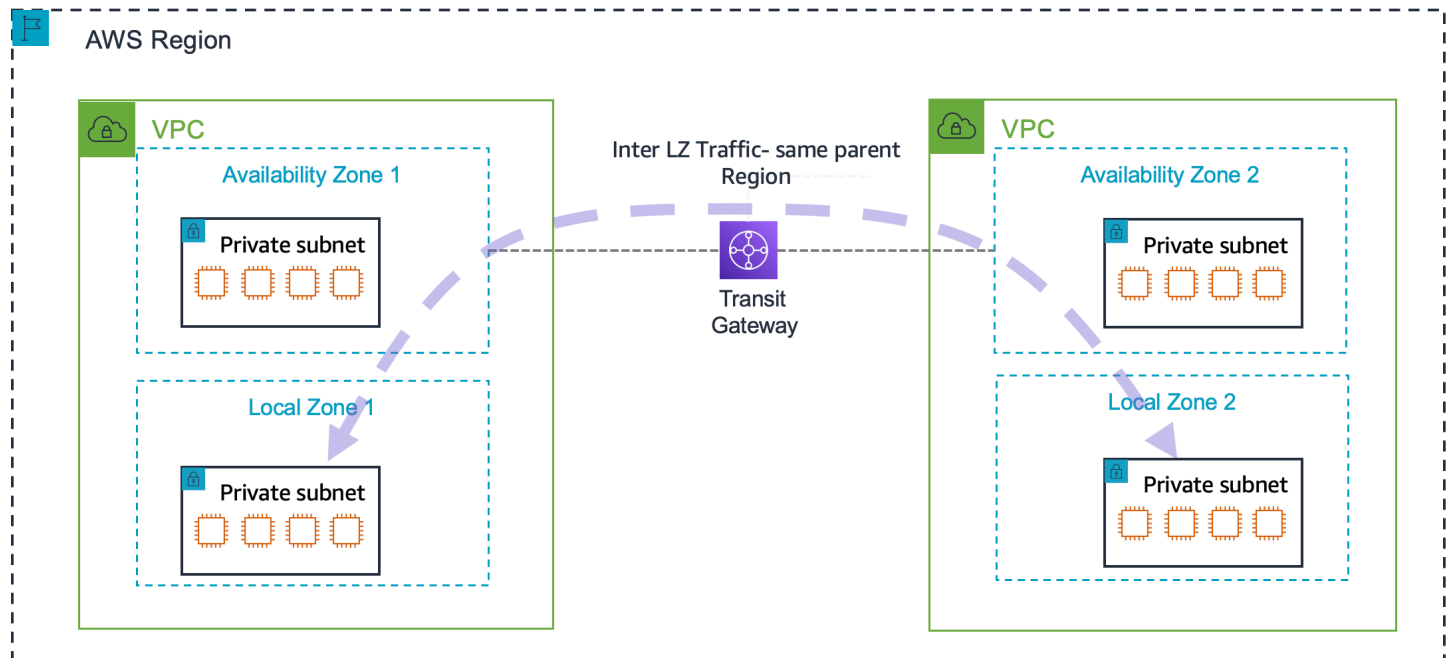
ハイブリッドクラウド移行中、Direct Connect を使用してデータセンター内のアプリケーションの他の部分と通信しながら、アプリケーションを Local Zones に移行できます。例えば、アプリケーションのフロントエンドをローカルゾーンの Amazon EC2、Amazon ECS、または Amazon EKS に移行し、バックエンドデータベースをデータセンターに残すことです。最終的に、データベースをローカルゾーンに移行し、アプリケーション全体を に移行できます AWS リージョン。

## ローカルゾーン間のトランジットゲートウェイ接続

トランジットゲートウェイを使用して、同じ親リージョン内の別のローカルゾーンに接続できます。トランジットゲートウェイの詳細については、「[Amazon VPC ユーザーガイド](#)」の「[トランジットゲートウェイを使用して VPC を他の VPCs](#)」を参照してください。

ローカルゾーン間のトランジットゲートウェイ接続は、異なるローカルゾーンにワークロードがあり、それらの間でネットワーク接続が必要な場合に便利です。

次の図は、同じリージョン内の 2 つのローカルゾーン間のトランジットゲートウェイ接続を示しています。



## 考慮事項

- 親ゾーンに Transit Gateway アタッチメントを作成する必要があります。
- Local Zone を、同じ VPC 内にある別の Local Zone または Outpost に接続することはできません。

## 親ゾーン

AWS Global View コンソールまたはコマンドラインインターフェイスを使用して、ローカルゾーンの親ゾーンの詳細を取得できます。

### AWS Global View console

ローカルゾーンの親ゾーンの詳細を取得するには

1. [AWS Global View コンソール](#)にサインインします。
2. ナビゲーションペインから、リージョンとゾーンを選択します。
3. Local Zones タブを選択します。
4. ローカルゾーンを見つけます。
5. スクロールして、ローカルゾーンの親ゾーン名と親ゾーン ID を確認します。

## AWS CLI

ローカルゾーンの親ゾーンの詳細を取得するには

[describe-availability-zones](#) コマンドを使用します。次の例では、ロサンゼルス（注）のローカルゾーンを使用しています。

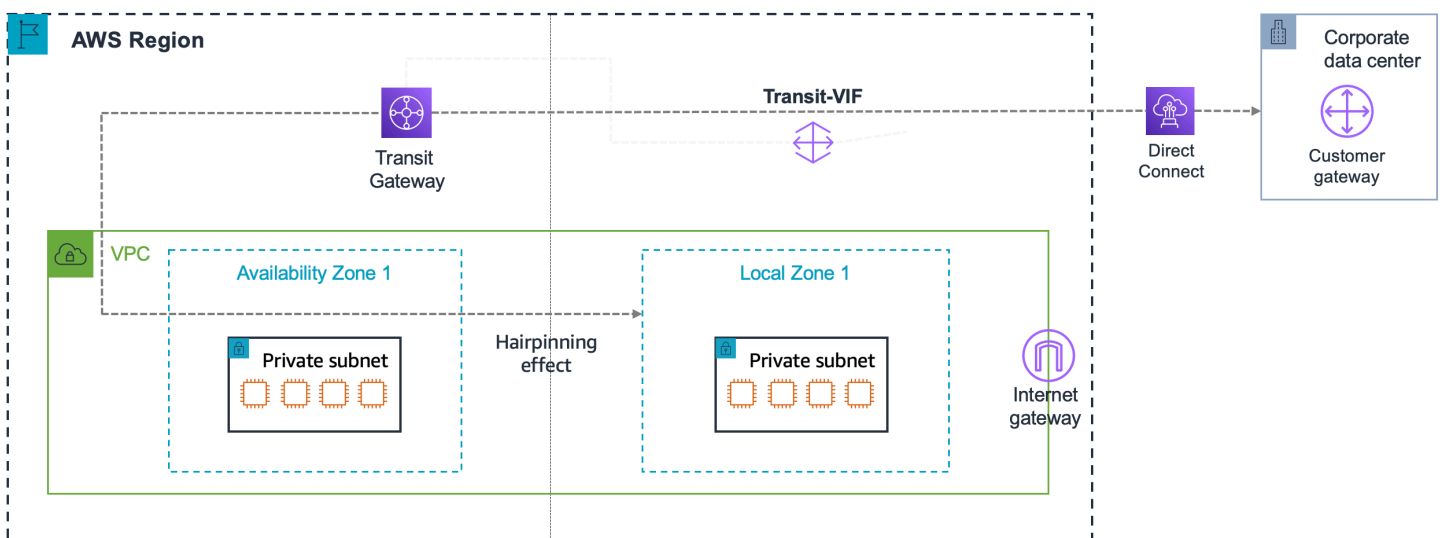
```
aws ec2 describe-availability-zones \  
  --zone-names us-west-2-lax-1a \  
  --query 'AvailabilityZones[0].ParentZoneName' \  
  --region us-west-2 \  
  --output text
```

## ローカルゾーンでのトランジットゲートウェイ接続

Transit Gateway は Amazon Virtual Private Cloud と オンプレミスネットワークを中央ハブ経由で接続します。トランジットゲートウェイが存在する AWS リージョン。トランジットゲートウェイを使用してデータセンターをローカルゾーンに接続できますが、これは直接接続ではありません。

トランジットゲートウェイの詳細については、「Amazon [VPC ユーザーガイド](#)」の「[トランジットゲートウェイを使用して VPC を他の VPCs](#)」を参照してください。

次の図は、Direct Connect を介したカスタマーゲートウェイから Transit VIF AWS リージョンを使用したの Transit Gateway への接続を示しています。そこから VPC に接続し、ローカルゾーンへのトラフィックを有効にします。



ローカルゾーンでこの接続オプションを使用すると、データセンターからローカルゾーンへのすべてのトラフィックは、まず送信先のローカルゾーンの親リージョン (ヘアピンニングとも呼ばれます) に移動し、次にローカルゾーンに移動します。トランジットゲートウェイを使用してオンプレミスからローカルゾーンに接続するのは、まずデータをリージョンに移動し、レイテンシーを増やす必要があるため、理想的なパスではありません。

# AWS AWS ローカルゾーンの マネージドポリシー

AWS 管理ポリシーは、によって作成および管理されるスタンドアロンポリシーです AWS。AWS 管理ポリシーは、ユーザー、グループ、ロールにアクセス許可の割り当てを開始できるように、多くの一般的なユースケースにアクセス許可を付与するように設計されています。

AWS 管理ポリシーは、すべての AWS お客様が使用できるため、特定のユースケースに対して最小特権のアクセス許可を付与しない場合があることに注意してください。ユースケースに固有の [カスタマー管理ポリシー](#) を定義して、アクセス許可を絞り込むことをお勧めします。

AWS 管理ポリシーで定義されているアクセス許可は変更できません。が AWS 管理ポリシーで定義されたアクセス許可 AWS を更新すると、ポリシーがアタッチされているすべてのプリンシパル ID (ユーザー、グループ、ロール) に影響します。AWS は、新しい が起動されるか、新しい API オペレーション AWS のサービス が既存のサービスで使用できるようになったときに、AWS 管理ポリシーを更新する可能性が高くなります。

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS マネージドポリシー](#)」を参照してください。

## AWS マネージドポリシー: AWS

### ZoneGroupAccessManagementServiceRolePolicy

このAWS ZoneGroupAccessManagementServiceRolePolicyポリシーはAWS ServiceRoleForZoneGroupAccessManagement、サービスにリンクされたロールにアタッチされます。これにより、管理者は組織全体に代わってゾーングループを有効にし、組織に参加する既存のすべてのメンバーアカウントと新しいアカウントを自動的にオプトインできます。ユーザー、グループおよびロールにこのポリシーはアタッチできません。

#### アクセス許可の詳細

このポリシーには、以下のアクセス許可が含まれています。

- DescribeOrganization – 組織の詳細を表示します。
- DescribeOrganizationalUnit – 組織単位情報を表示します。
- DescribeAccount – アカウントの詳細を表示します。
- ListAccounts – 組織内のすべてのアカウントを一覧表示します。
- ListParents – 親コンテナを一覧表示します。

- ListAWSServiceAccessForOrganization – AWS サービスアクセスステータスを一覧表示します。
- ListChildren – 子リソースを一覧表示します。
- ListDelegatedAdministrators – 委任された管理者を一覧表示します。

このポリシーの詳細については、「AWS マネージドポリシーリファレンス」の[AWS ZoneGroupAccessManagementServiceRolePolicy](#)を参照してください。

## AWS AWS ローカルゾーンの管理ポリシーの更新

このサービスがこれらの変更の追跡を開始してからの AWS Local Zones の AWS マネージドポリシーの更新に関する詳細を表示します。このページの変更に関する自動アラートについては、AWS Local Zones ドキュメント履歴ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

変更	説明	日付
AWS ZoneGroupAccessManagementServiceRolePolicy – 新しいポリシー	管理者が組織全体に代わってゾーングループを有効にし、組織に参加する既存のすべてのメンバーアカウントと新しいアカウントを自動的にオプトインできるようにする新しい AWS 管理ポリシーを追加しました。	2025 年 6 月 30 日

# AWS Local Zones ユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表に、AWS Local Zones のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
<a href="#">Geography フィールド</a>	ローカルゾーンのジオグラフィは、そのインフラストラクチャの特定の物理的な場所です。	2025 年 3 月 25 日
<a href="#">グループロングネームフィールド</a>	グループのロングネームは、ローカルゾーングループの名前です。	2025 年 3 月 11 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (ニューヨーク市) で利用可能になりました。	2025 年 1 月 8 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国西部 (ホノルル) で利用可能になりました。	2024 年 4 月 29 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (マイアミ) 2 で利用可能になりました。	2024 年 3 月 28 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (アトランタ) 2 で利用可能になりました。	2024 年 2 月 26 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (ヒューストン) 2 で利用可能になりました。	2024 年 2 月 5 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (シカゴ) 2 で利用可能になりました。	2024 年 1 月 30 日

---

<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国東部 (ダラス) 2 で利用可能になりました。	2023 年 11 月 13 日
<a href="#">NAT ゲートウェイ</a>	NAT ゲートウェイが一部のローカルゾーンで利用可能になりました。	2023 年 8 月 17 日
<a href="#">新しいローカルゾーンの起動</a>	新しいローカルゾーンが米国西部 (フェニックス) 2 で利用可能になりました。	2023 年 7 月 27 日
<a href="#">初回リリース</a>	AWS Local Zones ユーザーガイドの初回リリース	2022 年 11 月 17 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。